

令和7年度 発注者別工事採算性に関するアンケート結果(A等級)

○調査対象工事

北陸地方整備局、富山県及び県内市町村発注工事の内、請負金額2,500万円以上(建築は3,000万円以上)でかつ、令和7年4月1日～令和8年3月31日までに完成し採算が把握できる工事。

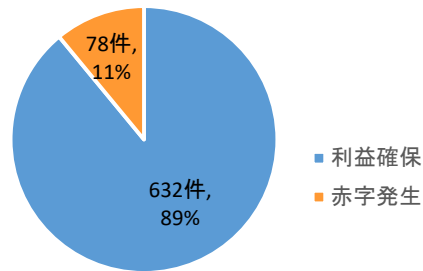
※採算性には本社経費を含めたもの

○対象企業 会員企業のうち県ランク土木A等級または、建築A等級 146社

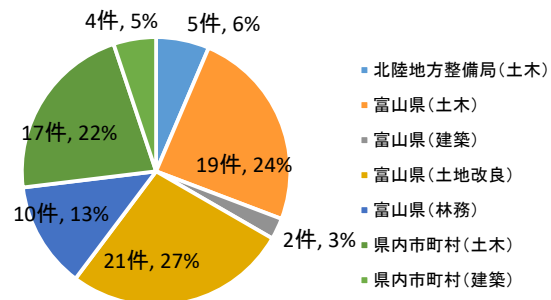
○回答企業数 121社 回答率 81.2%

○調査期間 令和8年6月1日～7月3日

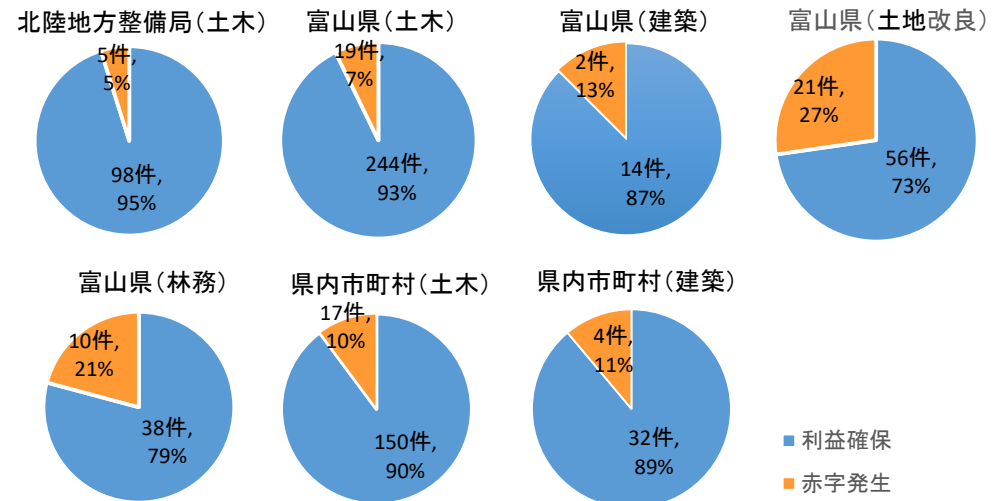
①調査対象工事の状況(710件、121社)



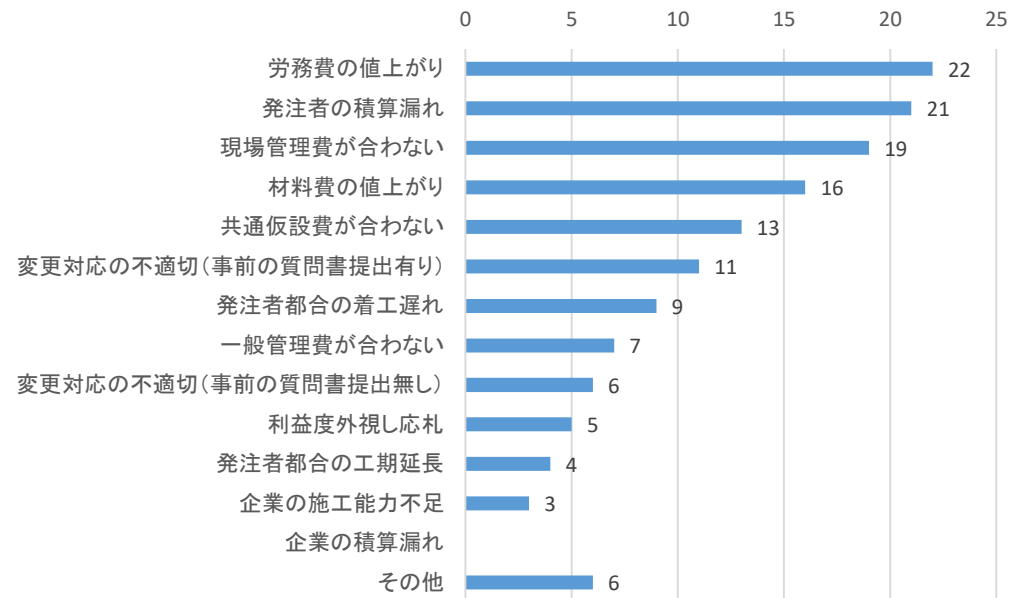
②赤字工事の内訳(78件、41社)



③発注者別の採算状況(710件、121社)



④赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

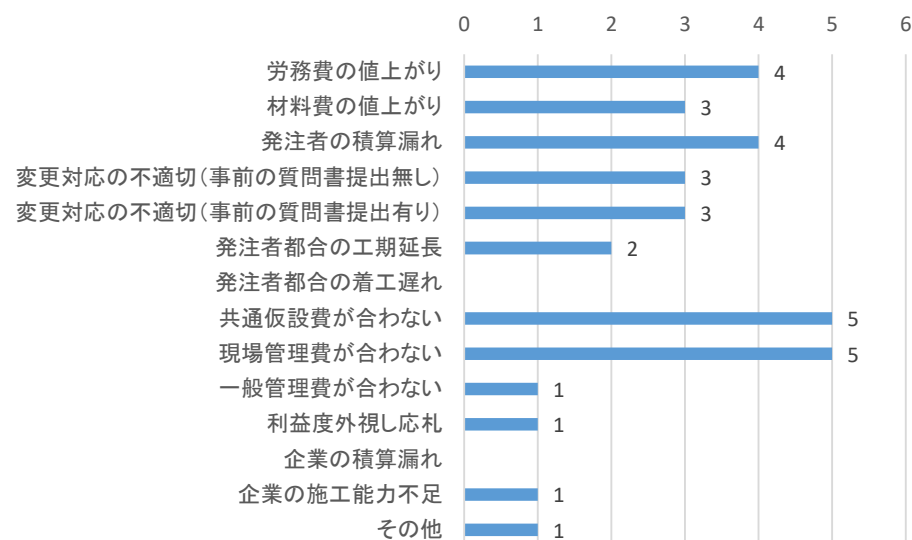


令和7年度 発注者別赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

北陸地方整備局(土木) 利益確保 98件(95%) 赤字発生 5件(5%)



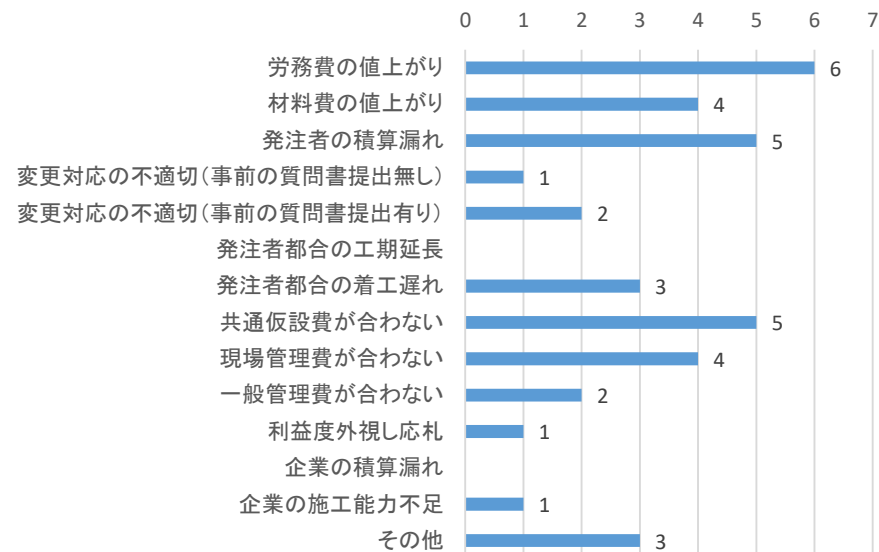
富山県(土木) 利益確保 244件(93%) 赤字発生 19件(7%)



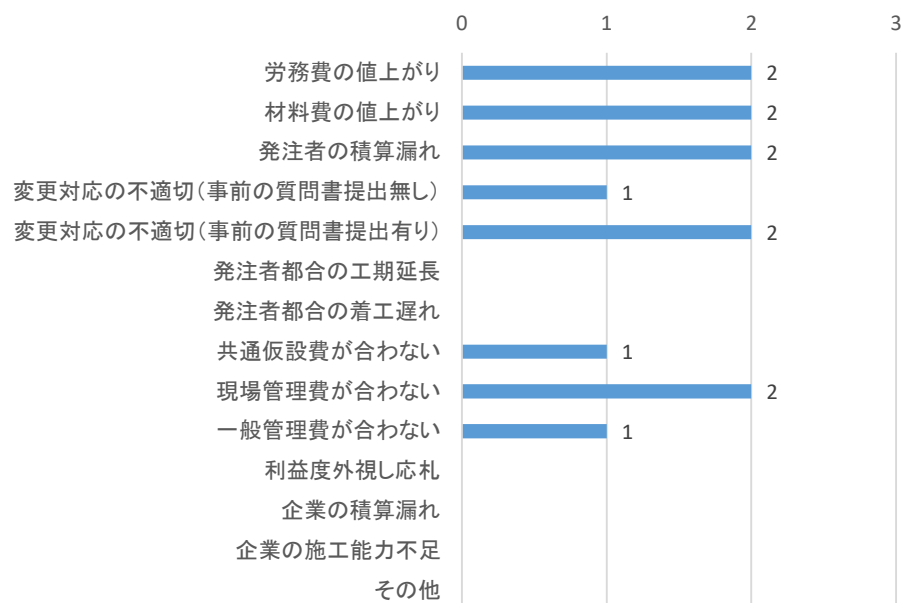
富山県(建築) 利益確保 14件(87%) 赤字発生 2件(13%)



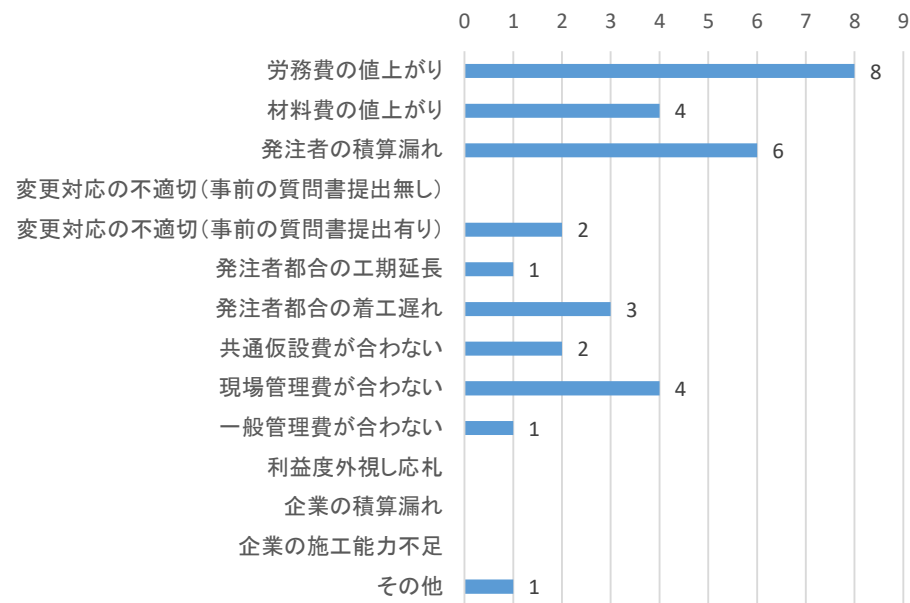
富山県(土地改良) 利益確保 56件(73%) 赤字発生 21件(27%)



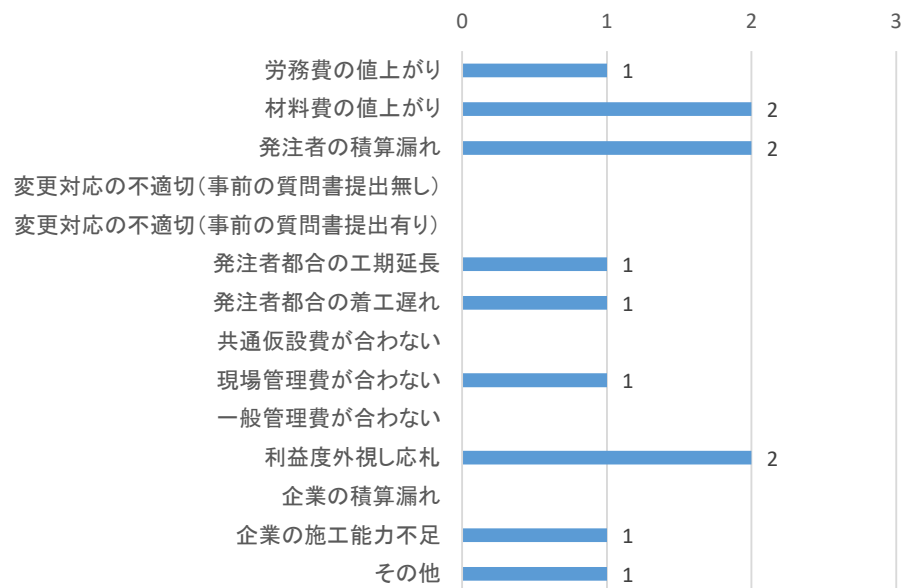
富山県(林務) 利益確保 38件(79%) 赤字発生 10件(21%)



県内市町村(土木) 利益確保 150件(90%) 赤字発生 17件(10%)



県内市町村(建築) 利益確保 32件(89%) 赤字発生 4件(11%)



赤字工事の主な発生理由(その他)

【北陸地方整備局(土木)】

- ・施工規模が小さい(数量が少ない)ため、直工が合わなかった。
- ・設計数量より大幅に数量が減ったため。

【富山県(土木)】

- ・地元調整を含む準備に時間を要した。
- ・災害復旧工事の水替え工では実稼働分が計上されない。
- ・水替えによる工期延期と水替えの変更。
- ・施工範囲が広いのに、仕事の内容が細かいことが原因。
- ・新入社員の配置で、その現場給与が原価算入されたため。

【富山県(土地改良)】

- ・歩掛が合わないものがある。
- ・仮設の不適切。
- ・外注費の値上がり。
- ・小型構造物の現場打ち(曲折工、落差工)が多く、積算と実際の金額に大幅の乖離があるため。
- ・ICT施工を導入した工事。施工技術の習得を目的として、若手職員を他現場より多く配置し、測量・出来形管理・データ処理等の実務を教育を行った結果、現場管理費が増加した。
- ・地元要望への対応に時間を要した。工期延期により経費が増大した。水替えにおいて常時排水が認められなかった。
- ・現道を通しながらの施工なため、クリティカルパスが多く、少量づつの施工となり無駄が多く時間がかかった。
- ・発注金額は小さめではあるが水稲作終了後の冬季間工事でもあり天候にも影響されることから工事完成に半年以上かかり現場経費がかさむことになった。
- ・施工範囲が広いのに、仕事の内容が細かいことが原因。

【市町村(土木)】

- ・発注者の採用している補修及び仮設の単価が全く合わない。
- ・労務費や材料費が高騰したため。
- ・とび・土工 追加数量等の増により。
- ・交通規制を日々実施、且つ歩道内の狭小箇所での施工、既存側溝からの漏水等が重なり、仮設費等に費用を要した。

【市町村(建築)】

- ・JV構成会社の能力不足、設計事務所の過度要求、市役所の責任転嫁。

発注者別工事採算性に関するアンケート結果（令和6年度と令和7年度の比較）

①調査対象工事の状況（令和6年度 624件 118社、令和7年度 710件 121社）

調査対象工事

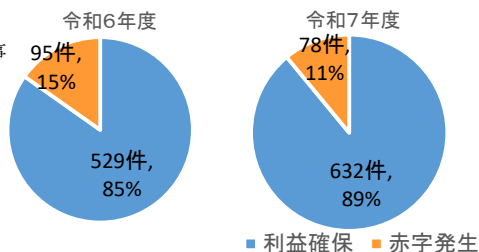
・北陸地方整備局、富山県及び県内市町村発注工事のうち、請負金額2,500万以上（建築3,000万円以上）

<令和6年度対象工事期間>

令和6年4月1日～令和7年3月31日

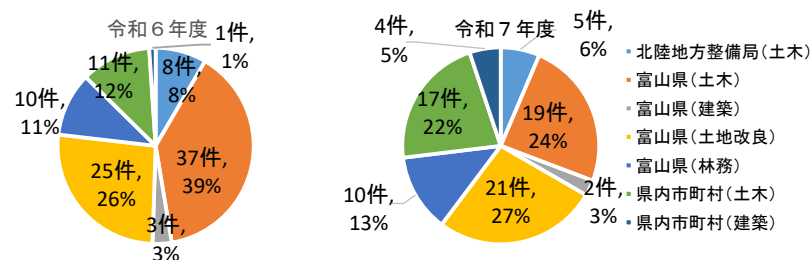
<令和7年度対象工事期間>

令和7年4月1日～令和8年3月31日

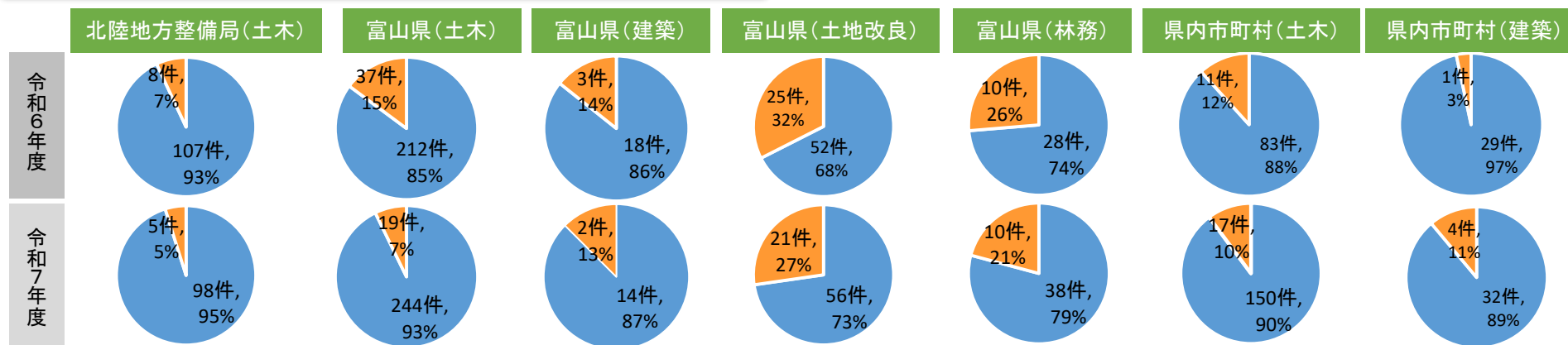


■ 利益確保 ■ 赤字発生

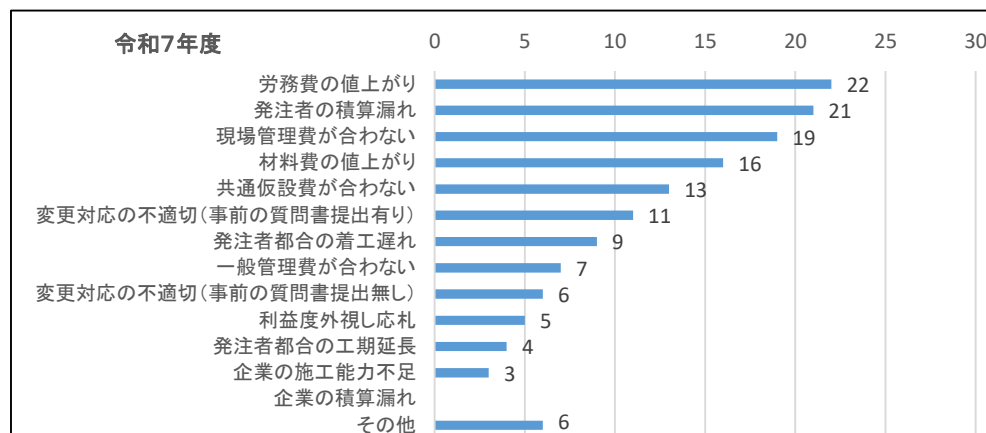
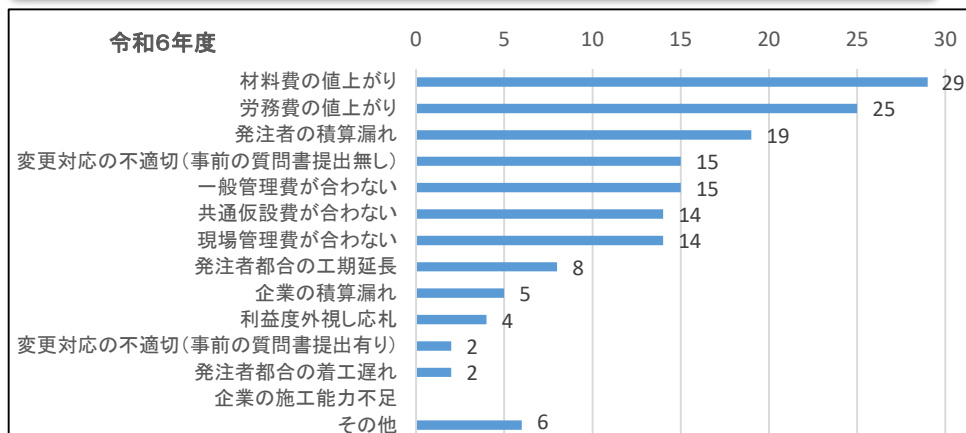
②赤字工事の内訳（令和6年度 95件 46社、令和7年度 78件 41社）



③発注者別の採算状況

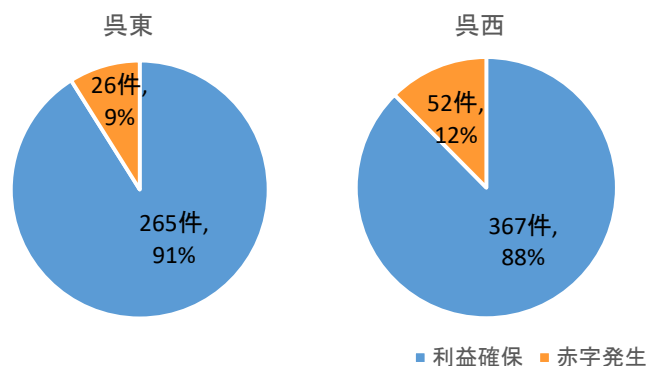


④赤字工事の主な発生理由（3つまで回答可）

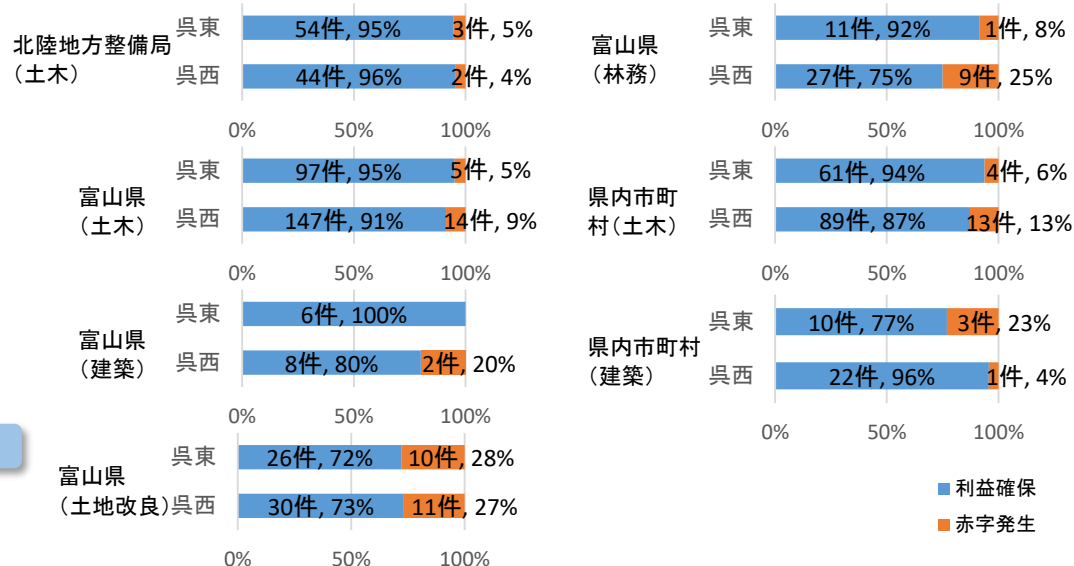


令和7年度 発注者別工事採算性に関するアンケート結果(呉東呉西の比較)

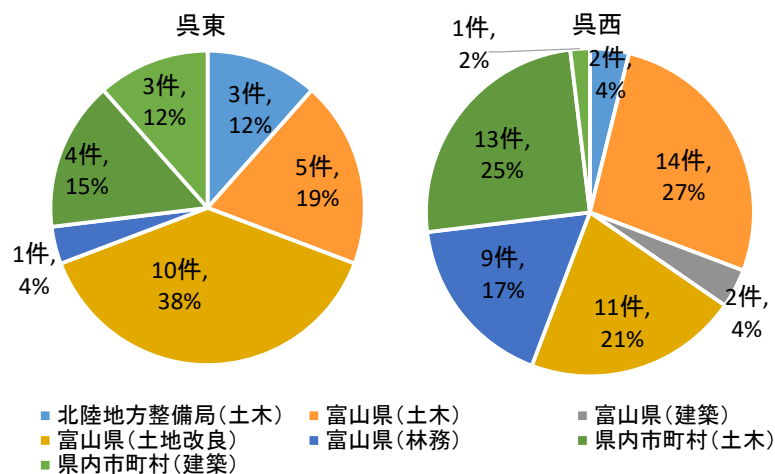
①調査対象工事の状況(呉東 291件、59社、 呉西 419件、62社)



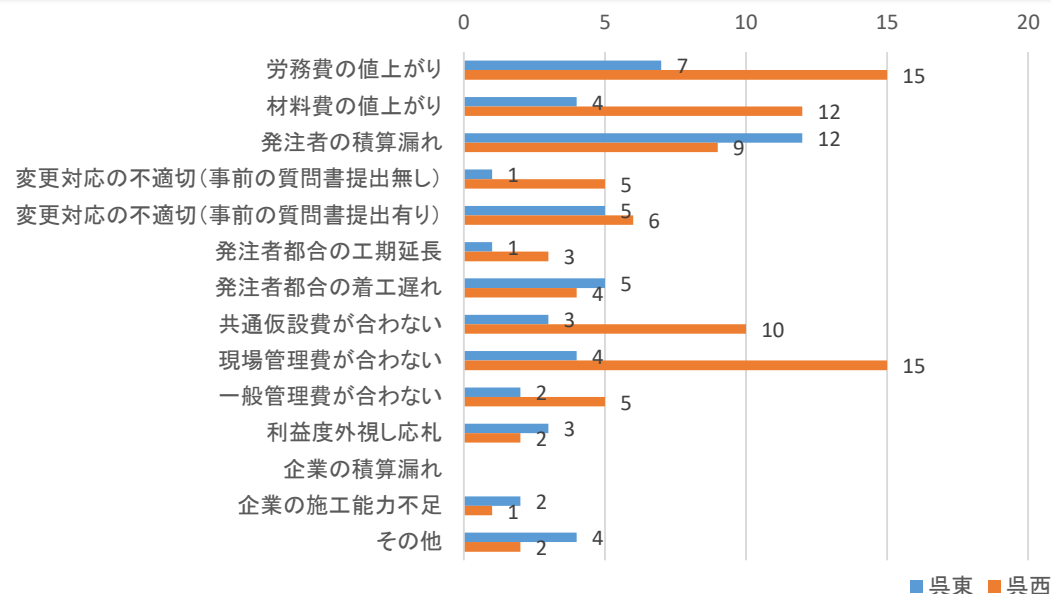
③発注者別の採算状況(710件、121社)



②赤字工事の内訳(呉東 26件、15社、 呉西 52件、26社)

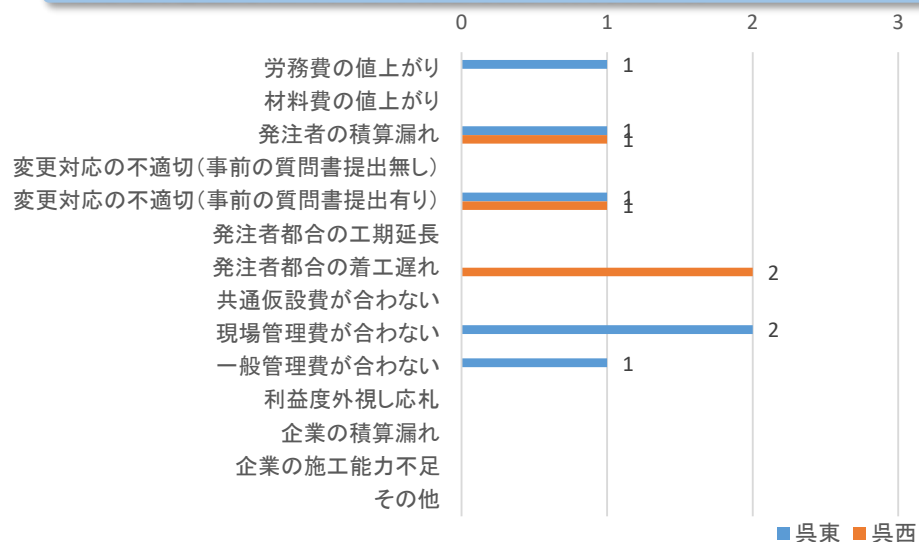


④赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)

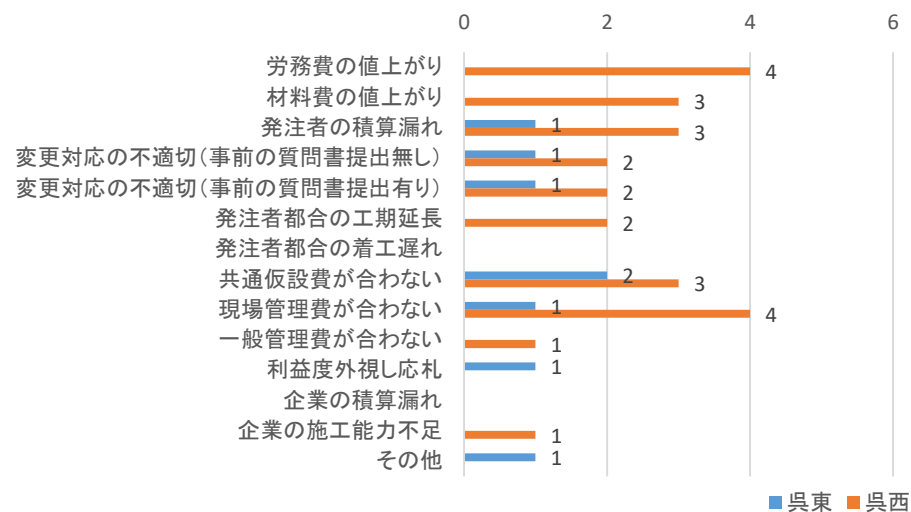


令和7年度 発注者別赤字工事の主な発生理由(3つまで回答可)(呉東呉西の比較)

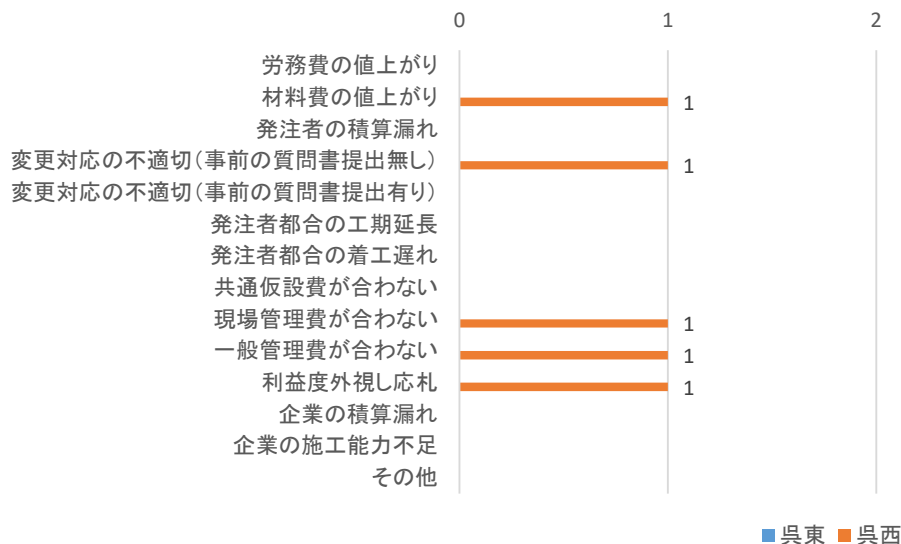
北陸地方整備局(土木) 赤字発生 呉東 3件、呉西 2件



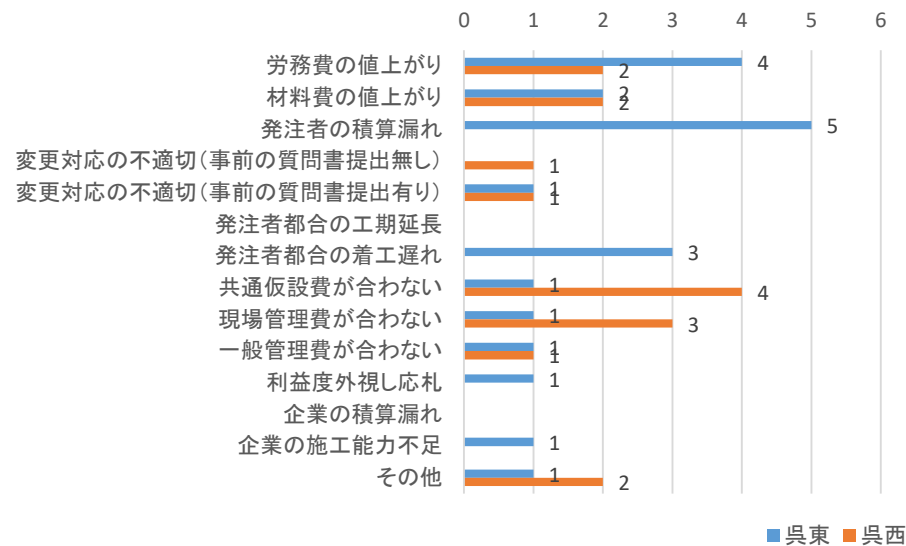
富山県(土木) 赤字発生 呉東 5件、呉西 14件



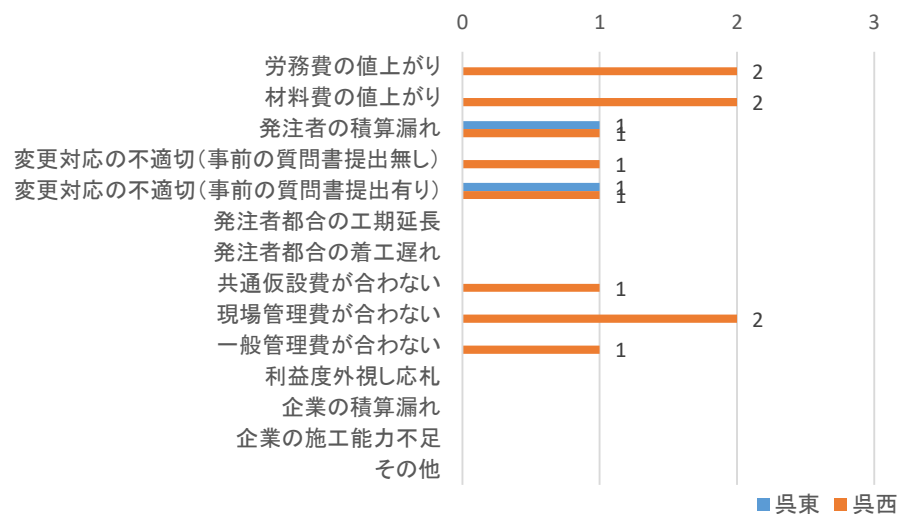
富山県(建築) 赤字発生 呉東 0件、呉西 2件



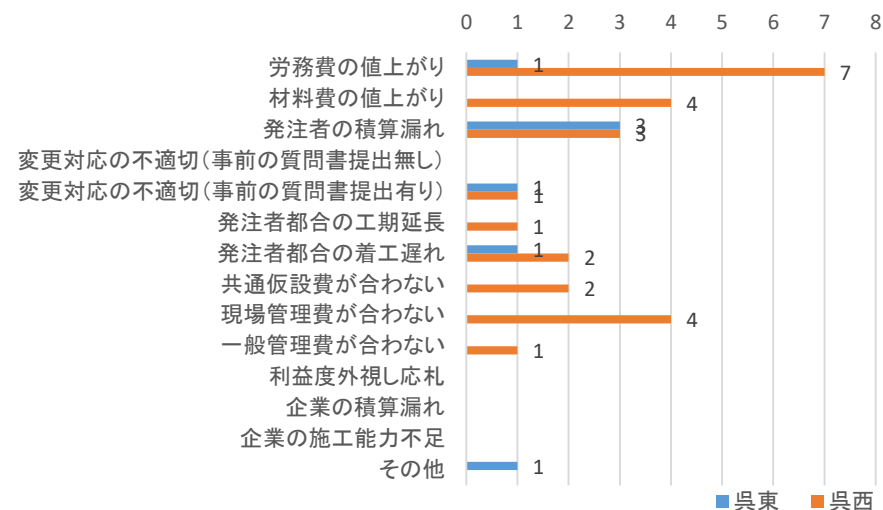
富山県(土地改良) 赤字発生 呉東 10件、呉西 11件



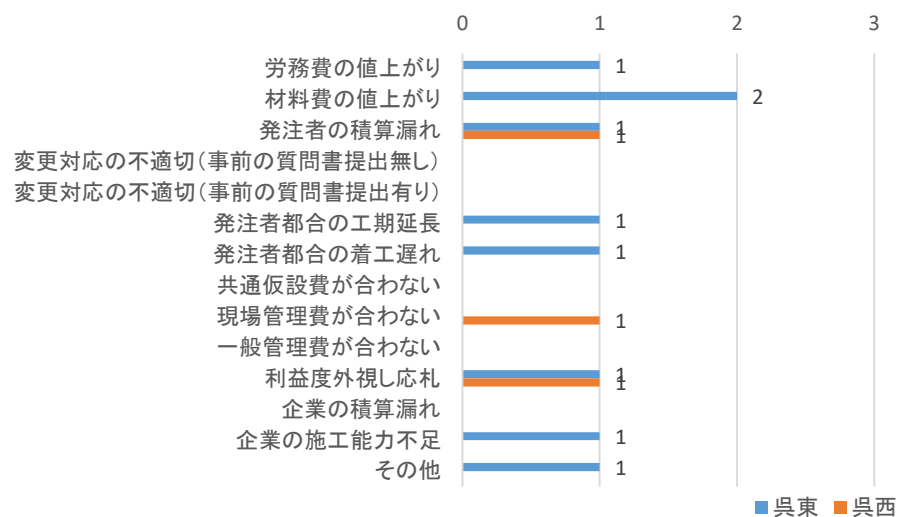
富山県(林務) 赤字発生 呉東 1件、呉西 9件



県内市町村(土木) 赤字発生 呉東 4件、呉西 13件



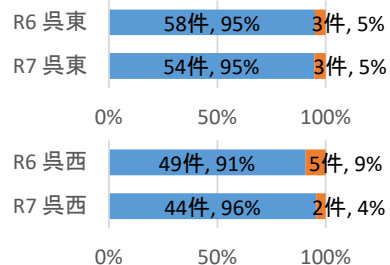
県内市町村(建築) 赤字発生 呉東 3件、呉西 1件



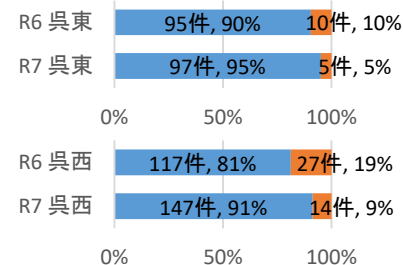
発注者別工事採算性に関するアンケート結果（令和6年度と令和7年度の呉東呉西比較）

①発注者別の採算状況

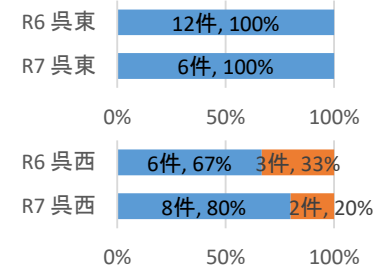
北陸地方整備局（土木）



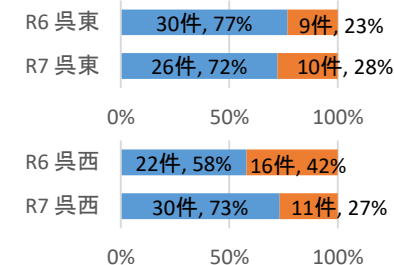
富山県（土木）



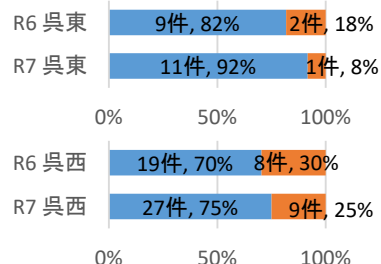
富山県（建築）



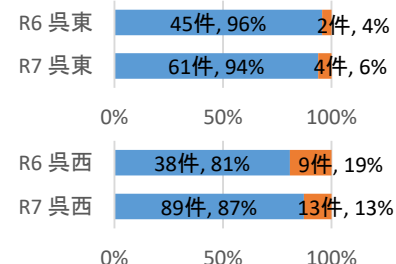
富山県（土地改良）



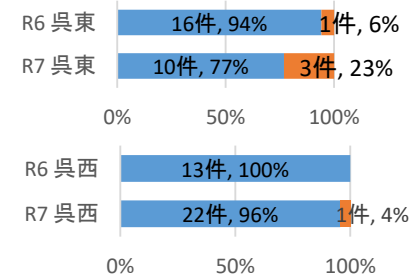
富山県（林務）



県内市町村（土木）



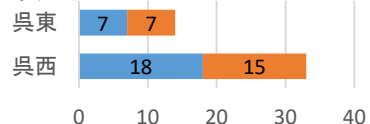
県内市町村（建築）



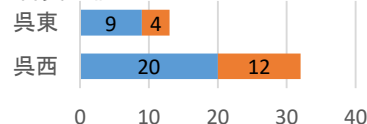
■ 利益確保
■ 赤字発生

②赤字工事の主な発生理由（3つまで回答可）

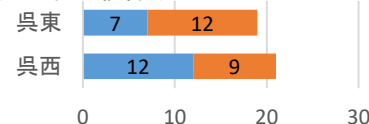
労務費の値上がり



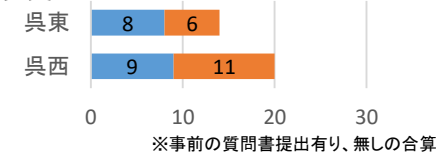
材料費の値上がり



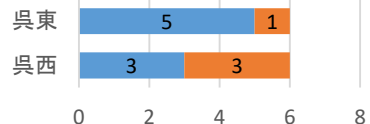
発注者の積算漏れ



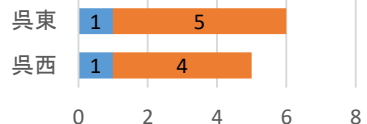
変更対応の不適切



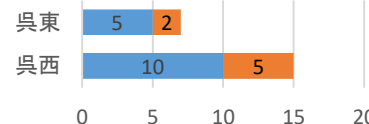
発注者都合の工期延長



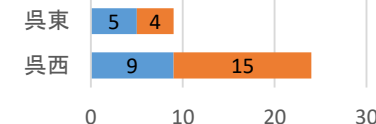
発注者都合の着工遅れ



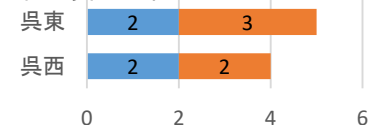
共通仮設費が合わない



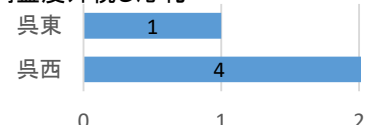
現場管理費が合わない



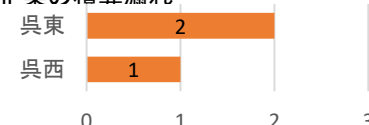
一般管理費が合わない



利益度外視し応礼



企業の積算漏れ



企業の施工能力不足

